



「ぼんちdeトラベル」 ～国際交流員の出身国の入賞コメントを紹介～

1月14日(金)から2月28日(月)まで市役所の1階市民サロンで、「ぼんちdeトラベル～豪中モンはいかがですか?～」というイベントを開催しました。国際交流員3名が出身国のお薦めしたい旅行地や料理などを写真で展示紹介し、それぞれの国に関するエピソードなどの募集や気軽に参加できるミニ投票も行いました。応募いただいたエピソードの中から1位、2位、CIR特別賞を受賞したものを紹介します。

中国

1位 地元の人に行く食堂(当地人会去的饭馆)

今から30数年前、20代後半の時、2年続けて中国旅行。ノーブランチのバックパッカー。1度目は香港から北京へ。2度目は上海からウルムチへ。中国の人をはじめ、いろいろな国の人と毎日宴会みたいなもの。楽しかったー。敦煌のロバ料理が印象に残っていますが、牛肉麺や焼餅や、数え上げたらキリがありません。今何が食べたいか?

炒手(辛いワンタン)!

ニックネーム:くま 年代:60代

2位 海南島(海南島)

20年程前、東洋のハワイと呼ばれる海南島で暮らしていました。海がきれいで、どこかベトナムやタイ・沖縄の雰囲気もあり、人がとても温かい街でした。仕事の合間に同僚と行くランチが毎日の楽しみで、ピロビルの間にある屋台のピーナッツ入りリャンバンメンや海鮮スープのフォーがとてもおいしかった思い出があります。いつかまた懐かしい人達を訪ねて行ってみたい場所の1つです。

ニックネーム:みーたん 年代:40代

CIR特別賞 火鍋(火锅)

先日、中華料理店で初めて火鍋を食べました。辛かったけどすごく美味しかったです。火鍋サイコー!

ニックネーム:Jun 年代:40代

オーストラリア

1位 メルボルン (Melbourne)

私が小学生の頃、メルボルンでオリンピックが開催され、私たちはメルボルンオリンピックの歌(日本で低学年向け)に合わせてダンスを踊った思い出があります。外国の名前も都市の名前も知らなかった頃ですが、メルボルンの名前だけは今でも私の頭の中に残っています。

もう1つはパースです。私が勤めていた会社の上司がパースで活躍された方でした。その方は2、3年前に他界されましたが、その方の笑顔が今でも浮かんできます。

ニックネーム:ああちゃん 年代:70代

2位 コフスハーバー (Coffs Harbour)

住んでた町はナンバカヘッドでした。週末はコフスハーバーに車で1時間買物に行っていました。ベットルームの窓から朝

陽が昇り、庭に小鳥がたくさん遊びに来ます。仕事は大変でしたけど、楽しい毎日でした。

ニックネーム:Marty 年代:70代

CIR特別賞 ゴールドコースト (Gold Coast)

大学1年の夏休みに1か月間オーストラリアのゴールドコーストにホームステイに行きました。70代のおばあさま(一人暮らし)のお宅だったのですが、本当に孫のように接してくれて、温かいオーストラリアの方々の心に触れました。

帰国直前は空港で帰たくない泣く私をやさしく抱きしめてくれました。また会いに行きたいですね。

ニックネーム:まあ 年代:20代

モンゴル

1位 モンゴル料理 (Монгол хоол)

モンゴル人から何度もモンゴル料理をご馳走してもらいましたが、どれも本当に美味しいです♡お肉もいっぱい野菜も沢山使って温まる料理です。いつかは現地ですべい料理を食べたいですね!

Бууз, Хуушуур, Цуйван, Банштай цай

ニックネーム:山娘 年代:30代

2位 交流 (Нөхөрлөл)

三年前に我が家にモンゴルからホームステイに男の子が来ました。モンゴルの風景が映し出された写真集を持って来てくれました。今でもその子とはやりとりしています。いつか行きたいです。

ニックネーム:22丸 年代:40代

CIR特別賞 食事 (Идээ ундаа)

お肉はもちろん乳製品/チーズ、牛乳、ヨーグルトをたっぷり食べてみたいです♡モンゴルには一度出張で行ったことがあり青い空と空気感そして人の温かい笑顔が忘れられません。

ニックネーム:よっぴー 年代:30代



都城国際交流協会からのお知らせ ～新事務局長の紹介と総会について～



◆新事務局長ご挨拶

4月から事務局長としてまいりました渋谷吉春(しぶやよしはる)です。

40代の頃、教育委員会学校教育課で中学生の海外派遣事業を担当したことがあります。派遣先は、オーストラリア、中国、モン

ゴルでした。丁度、今の職場にいる三人の国際交流員の出身国です。何かのご縁を感じています。

◆令和4年度 都城国際交流協会総会について

令和4年度都城国際交流協会総会は、新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが立っておりませんので、本年度も中止することにいたしました。

事業計画等につきましては、改めてお知らせいたします。
問合せ：電話 0986-23-2295 E-mail mia@btvm.ne.jp



「モンゴルの家系図」

～都城市モンゴル国際交流員 ソヨルマーさんによるモンゴル紹介～

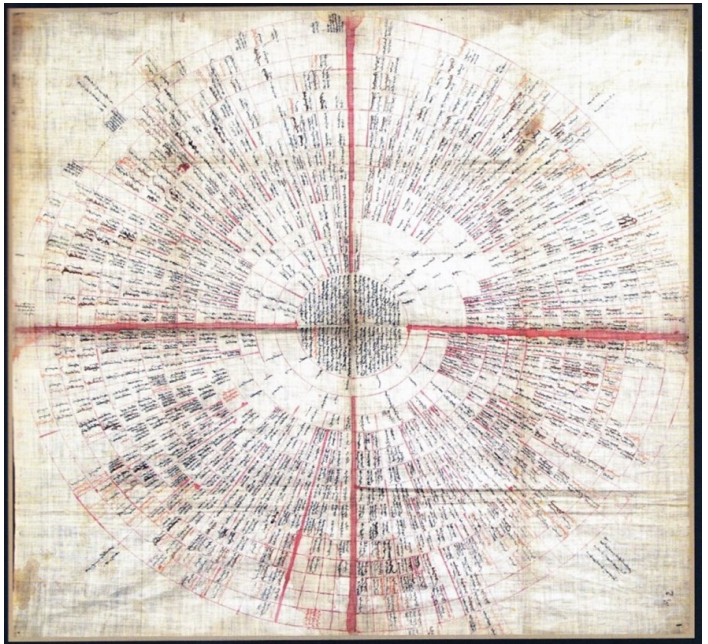
モンゴルでは、昔から家系図を作成する伝統的な文化があります。どの国にとっても、同じ文化があつて、各国で大切にされていることの一つではないかと思ひます。

では、モンゴルならではの家系図の特徴といえば、「各家庭で昔から何世代も通して、現在まで引き継がれている家系図を復元させ、新しい情報を取り入れる(今の言葉でいえばアップデートする)、あるいは新しく作成して子供たちに引き継ぎましょう」という動きが社会全体に強いところではないかと思ひます。

モンゴルの国立書類保管局には、個人に関する基本データが全て大切に保管されてありますが、このような行政機関へ行って調べてもらわなくても、自分たちの家庭で家宝として家系図を大切にしようと考え方です。

モンゴルでは、年に一回、このような家系図について、必ず話し合う場といえば、モンゴルの伝統的な行事である旧暦のお正月(ツァガンサル)のときです。目上の方が、若い世代に大切な教養を伝承し、先祖のお話をしてくれます。その人がいるからこそ、お伝えできる貴重なお話を耳だけではなく心で聞けるからモンゴル人がみんなお正月を特別な日としてお祝いします。近年、家系図の携帯アプリも導入されつつあります。祖先や血縁がある兄弟や親戚の繋がりを今の若い世代や子孫に伝えるためのツールとして、非常に今っぽいスタイルの家系図と思ひておりますが、個人的に紙式の伝統的な家系図の方が大好きです。その大切さと重みを、本を

読むことと同じく捲りながら、時代を超えて蘇る物語を自分たちの世代でもっと大切し、子供たちに引き継がせて行きたいと思ひております。



この家系図は、モンゴルの国立博物館に保管されている展示物です。ここでは1577-1905年までの328年間の家系のデータが書いてあり、計1万5人が書かれています。



「春分の日」

～都城市中国国際交流員 銭さんによる中国紹介～

21日は二十四節気の第四節目に当たる春分の日です。太陽が赤道上に位置し、昼と夜の長さが同じになります。



気持ちの良い暖かさで、草木が芽生え、花が咲き、ウグイスが鳴く春が来ます。ピクニックの計画でも立てるのはいかがでしょう。

中国には春分の日「卵が立つ」という伝説があります。形の整った卵を選んで立て、ゆっくりと手を離しても倒れないそうです。その理由は、春分に昼と夜が同じ長さになるということは、地軸が太陽に対して垂直になるということで、最も安定した重力状態となるからだとの説があります！そのため、中国の一部の地域には、春の始まりを、卵を立てて祝うという習慣があります。

北半球では今日から、昼間が長くなり、夜が短くなり始めるため、春らしさが増していきます。美しい大地と気持ちのいい春の光を楽しみましょう。



Aussie Bites (オーストラリアを、ひとかじり！) ～都城市オーストラリア国際交流員 ジョージによるオーストラリアの紹介～

メルボルン市からわずか1時間20分位の運転で行くことができ、私がよくお薦めする旅行先は、グレート・オーシャン・ロードです。

そこは243キロメートルも続き、いくつかの絶景ビーチや独特の史跡等もある道路であり、旅行先と呼ぶのは少し合っていないと思いますけどね！

右の写真はグレート・オーシャン・ロードの後半にある「ザ・グロット」という名所です。運が良ければ、ビーチの全部を一人で楽しむことができるし、道から離れても小さい洞窟を楽しむことができます！

グレート・オーシャン・ロードでは海岸沿いでフィッシュ・アンド・チップスをいただくことができ、サーフィンも楽しめて、ハイキングコースにも挑戦できる…！ これ以上 望むのは有り得ない！



編集部より

「hello !」

先日、我が家のパソコンを眺めていたら1通のメールが残ってました。以前ホームステイしていた子から15年ほど前に届いたものです。

縁あってシンガポールの子どもたちと交流する機会がありました。大人は、言葉も通じずどうしたら良いか分からず右往左往しているのに、子どもたちは身振り手振りを交えながら仲良くやってたな…と昔を思い出したところでした。

4月から地域振興課へ配属になりました福重です。どうぞよろしくお願ひします ☺ [福重]

桜花爛漫のこの季節、国際化推進室の一員として、五度目の春を迎えました。

四月から組織改革で、地域振興部地域振興課の国際化推進室という新設の部署での一年目がスタートします。

昨今のコロナ禍で国際交流イベント等の中止や延期、規模縮小など、MIA会員様をはじめ市民の皆様には多大な御迷惑をお掛けしているところですが、今年度の状況も普段どおりとはいかないまでも、微かな明るい兆しが見えているようにも感じます。

四月は新しい門出の時期。様々な別れと出会いを胸に。新たな国際化推進室を本年度もよろしくお願ひします。 [西畑]

4月からは新年度、すがすがしい気持ちでスタートしようと部屋の掃除をしていると、7つ離れている姉の物と思われるMDプレイヤーを発掘しました。存在は知っているものの、使ったことはほとんどなかったMDを四苦八苦しながらなんとか再生してみましたが、流れてきたのは名前も知らない曲の数々……音楽に疎い私のせいなのか、それともジェネレーションギャップのせいなのか。なんともモヤモヤした新年度の始まりでした。 [川内]

日本では、もっとも楽しみにする月は4月ではないかと個人的に思います。全てが「新しい」この月に入学、進学、卒業、入学、入社、退職後の第2の人生突入などなど夢が膨らむ特別な思いで日本中が染められるから、大好きです。

皆様方の4月にスタートしたこと全てが、大成功することを願っております。 [ソヨ]

漢方医は「養生は大自然の季節に移り変わりと密接な関係がある」としています。

春が訪れると、晴れたり曇ったりの天気が繰り返されるため、気分の浮き沈みも激しくなります。これによって、身体の抵抗力や調節力が低下しがちだそうです。なので、出来る限り穏やかな気分を保ち、規則的な生活リズムを保つことは、「のぼせ」を防ぐ重要なポイントと言われています。今年度も健康第一で頑張っていきたいと思います。皆さんもこの忙しい新年度の時期に過度に疲労しないように心がけましょう。 [銭]

厳冬から春暖へ移り変わり、花見の季節の到来との実感が湧いてきます。近年では祭り等の盛り上がる祝いが無い空虚感が浮かび、失望を避けるため、「今年こそ開催できる」との期待感がない方が良いと思ひながら、自分の悲観的な思想に飽きてしまいます。期待して良いでしょうか？開催できたら存分に楽しみ、開催できなかったらしょうがない、ということだけです！ というわけで、久しぶりに皆さんと会いたいです！

花見でも、トリビアナイトでも、ワールドフェスタでも、またどこかで楽しく交流しましょう！ [ジョージ]

36年勤めました都城市役所を退職し、その後五十市地区公民館に3年間勤務し、この度MIAでお世話になることになりました。昨年12月に北九州市に住む長男夫婦に男の子が生まれ、名実ともに「お爺さん」になりました。これから、西畑主幹はじめ職員の皆様、国際交流員の三人の力をお借りしながら、微力ながら国際交流の推進に少しでも貢献出来たらと思っています。 [渋谷]

春爛漫。大きく息を吸い込むだけで心が穏やかになる、私の大好きな季節になりました。道路沿いを彩る満開の桜についつい目を奪われがちですので、自分をたしなめながら車を運転しております。皆様もわき見運転にはどうぞお気を付けください。 [穴井]